

G114		里山生態学	
英名科目名	Ecology of Satoyama		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL : 075-705-1425 FAX : 075-705-1582		
担当教員	三瓶 由紀 (生命科学部)		
開講期間	2021年04月19日(月)～2021年07月26日(月) 4講時 15時00分～16時30分(毎週月曜日) 月曜振替1回 2021/05/06(木) 休講 2021/05/03(月)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	月曜日 4講時
単位数	2	履修年次	
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50		
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	平常点(50%)、最終レポート(30%)、小テスト(20%)により成績を総合的に評価する。平常点には、グループワークでのディスカッションや発表などを含む。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	講義の一部で屋外活動を予定しています。また第8回以降は、講義内でPC作業を行ってもらうため、PCの持参をお願いします。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>里山の必要性とその保全の方策など、里山と里山を取り巻く環境について生態学だけでなく、社会科学的な観点からも理解を図るとともに、里山の変化を定量的に評価するための技法を理解する。また講義で扱う理論・技術・手法をもとに、地域の里山の現状と課題点を整理し、自身の視点から保全のあり方について検討する機会を設ける。</p> <p>前半は講義中心に学習を進めるが、間で行われる小テストにより理解の程度を適宜確認し、それに沿って授業の進捗を調整する。また後半は、グループワークを通じて、自発的な学習方法を学ぶとともに、地域社会が抱える課題についての理解も深める。</p> <p>到達目標：論理的思考力・分析力、主体性、市民としての社会的責任</p>			
講義スケジュール			
<p>第1回 ガイダンス 第2回 里山と生態学の基礎 第3回 日本の植生変化と里山 第4回 里山の植生と変化 第5回 里山保全にむけた植生把握の技法 第6回 里山と生き物 第7回 里山の保全にむけた施策1：保全制度の変遷 第8回 里山の保全にむけた施策2：多様な主体の参画による保全 第9回 里山生態系の保全に向けた計画 第10回 里山生態系の把握・評価の技法：地図情報の基礎知識 第11回 里山生態系の把握・評価の技法：地図情報の活用 第12回-第14回 里山生態系の把握・評価の実践 第15回 まとめ</p> <p>授業内容の順序は、気象状況やゲストスピーカーの都合等により変更することがある。</p>			
教科書	特になし		
参考書	武内和彦・鷲谷いづみ・他、里山の環境学、東大出版会、2001年、2,800円		